

CLUB NEWS

WEEKLY
REPORT
YAMAGATA
CENTRAL



国際ロータリー第2800地区 第5ブロック

山形中央ロータリークラブ

30周年記念事業を終えて気持ちを新たに!

vol.
1358

2023・2024
MEETING

〒990-0039 山形市香澄町2-9-21 (株)メコム気付 事務所携帯TEL 090-1445-4120 FAX (023)642-1618

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形



- 会長 長玉ノ井憲史
- 会長エレクト 長谷川 淳
- 副会長 本間 雅之
- 直前会長 石山 徳昭
- クラブ管理運営 佐藤 太
- 職業奉仕 相川 博昭
- 社会奉仕 丹野 秀樹
- 青少年奉仕 伊藤 和子
- 国際奉仕 深瀬 隆志
- 幹事 高橋 恭治
- 副幹事 小林 敏郎
- 会計 神保 綾
- S A A 鈴木 陽子

国際ロータリー会長 コンドルマツカシ(スコットランド)
第2800地区ガバナー 伊藤 三之(山形北)
第5ブロックガバナー補佐 吉田 義尚(山形東)



世界に希望を生み出そう

◆日時/2024.6.11 12:30 ◆例会会場/ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング/我等の生業

会長挨拶



皆さん、こんにちは、最初に本日のゲストをご紹介します。陸上自衛隊第六師団長 神町駐屯地指令 陸将補 山本雅史(まさし)様です。後程お話をお聞きしたいと思います。神町自衛隊様に置かれましては私が入会してからは今回で2回目の卓話になると思いますが、前回

は今から8年前の2016年(平成28年)2月に当時陸上自衛隊第20普通科 連隊長の西村修様からゲスト卓話で「南スーダンの自衛隊の活動」についてのお話をいただいています。また、その前後かと思いますが、神町自衛隊の職場訪問もありました。この様になにかと大変神町自衛隊様にはいろいろとお世話になっておりこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

さて、私も自衛隊について大変興味がありまして、というのも私の父が海上保安庁のいわゆる今でいう海猿に勤めていたせい自衛隊と海上保安庁の違いについて少しお話したいと思います。

たぶん皆さんは同じ所属(ようする国の省)にあるのではと思っているのではないでしょうか。海上保安庁は国土交通省(旧運輸省)で国家公務員、自衛隊は防衛省で特別職国家公務員でちなみに警察官はキャリアを省き地方公

務員となっているそうです。自衛隊についての歴史など少し調べてみたら、自衛隊は1950年(74年前)に今の陸上自衛隊の前進である警察予備隊が設立され、その時は一時今の海上保安庁と自衛隊が一緒になっていた様です。そしてその後、「保安庁保安隊」「防衛庁陸上自衛隊」「防衛省陸上自衛隊」と名前を変えて現在に至っているそうです。

ついでに余談ですが日本の防衛力は世界でどのレベルかについて興味があったので調べてみました。ジャーナリストの池上さん、桜井さんのお話ですが、世界一位はアメリカで2位ロシア3位中国4位インドそして5位に日本となっており隣の韓国は6位だそうです。あくまでも世界は軍勢力と言っていますが、日本に限っては、軍隊ではなく専守防衛の自衛隊です。軍勢力ではなく防衛力というそうです。この様に日々自衛隊は日本の平和と安全、そして世界平和と安定のために、いついかなる任務が与えられようとも事態に即応して任務に遂行し得る「強靱な陸上自衛隊の創造」を目標に掲げてるそうで、是非これからも進化し続け、日本はもちろん世界の平和のために頑張ってくださいと思います。

以上挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。



玉ノ井憲史・高橋恭治/山本司令官殿、本日は貴重なお話をありがとうございました。いよいよ来週は今年度のふり返りになります。あと2週よろしくお願い致します。

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	36名	—	22名	—
修正出席				
他クラブでメイクアップされた会員				



ゲスト卓話

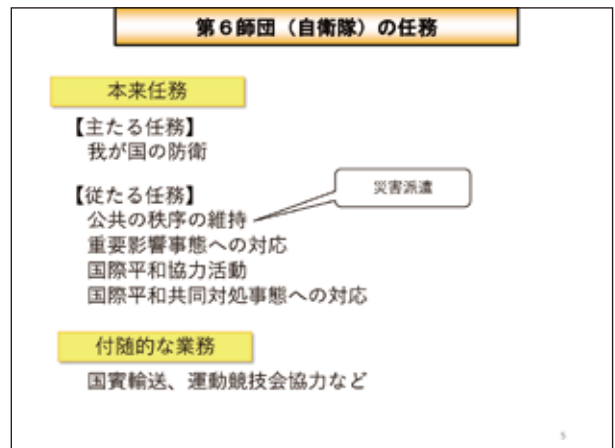
第6師団の概要とその活動

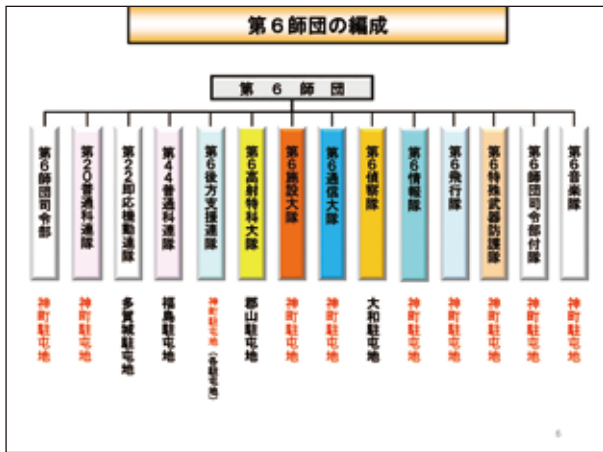
駐屯地司令 山本雅史氏



全国の方面隊区分及び第6師団について

- 1 全国の方面隊区分
- 2 第6師団の任務・編成・主要装備





目次

I 第6師団の概要

II 第6師団の活動

熊登半島地震における活動

南陽市林野火災における活動

震災当初の行動概要

日	政府・防衛省等	中部方面隊 (JTF)	東北方面隊
1日	1611 救急・陸幕・総隊 第3種 1658 ヘリ隊 (被害情報収集)	1617 第3種非常勤務態勢 1724 ヘリ隊 (被害情報収集) 1745 山形県庁へLO派遣	1610 第1種乙非常勤務態勢 1724 ヘリ隊 (被害情報収集) 1745 山形県庁へLO派遣
2日	1913 石川県 災害派遣要請 2230 臨時 非常対策本部会議 【派遣人数 約1,350名】	夜間 空中機動により福島、株洲、靑島にLOを派遣 0200 10師団主力、被災地に向け前進開始	1100 山形県災害対策本部会議 被害及び自衛隊二一式無 (山形県庁へLO派遣)
3日	【派遣人数 約2,000名】	3師団の部隊が7ヵ所型支援 (生活支援、物資輸送) 開始	・情報収集態勢を継続
4日	【派遣人数 約4,550名】	・13師団、14師団の部隊が生活支援準備開始	1641 入浴支援隊 (30P基幹) 増援 第2種非常勤務態勢
5日	【派遣人数 約6,450名】		2305 入浴支援隊が熊登半島に到着 午後、震災中方向に海軍転移



第6師団の対応状況等

石川県における活動

- 震災直後から、東北方面隊とし編成する入浴支援隊に対し、1コ入浴支援小隊等を配備
 - 1月5日から被災地へ派遣、1月30日まで20日間活動（のべ494名、208回）
 - 道の駅赤井神において、のべ2、618人に対して入浴を支援
- 方面隊方支援隊と部隊交代し、第6隊方支援連隊副隊長を長とする入浴支援隊を編成
 - 2月26日～3月22日まで26日間活動（のべ897名、234回）
 - 門前光善クラブ及び道の駅赤井神においてのべ12、683人に対して入浴を支援（東北方面隊の入浴支援実績：46、080名）

（令和6年4月13日入浴支援活動終了）

【活動地域等】

【部隊の活動状況】

入浴者からのメッセージ

感謝の言葉や励ましの手紙が寄せられています。

本災害派遣活動の特徴等

<p>【独立地域リスト】</p>	<p>○ 自治体等と連携し孤立地域の情報等を高い・処置状況を整備することにより、抜け漏れなく支援に対応</p> <p>○ 高台格別、緊急空自ヘリ等の最大限活用と連携、パキ等一等の活用により、あらゆる地域に対する支援を実施</p> <p>○ レンジャー要員を基幹とする「遊撃隊」がドローン・無人偵察機等を活用し、一般部隊では困難な支援活動を実施</p>
<p>【無難な活動】</p>	<p>○ 自治体、関係省庁と連携して中央等からの支援物資を各避難所等まで運搬に派遣</p> <p>➢ 各避難所等のニーズの集約、効果的な仕分け、輸送の担当区分等についてフローに基づき部隊を運用</p> <p>➢ 各町町村等の物資集積拠点から各避難所までの「ラスト・ワンマイル」の輸送を確保するため、専任部隊（先遣輸送隊）に対応</p>
<p>【被害者の声】</p>	<p>○ 在日米軍と協力しつつ、被災者の2次避難支援を実施</p> <p>○ P.F.1船団（民間フェリーの増強）による海上輸送施設の運営</p> <p>○ 緊急予備自衛官、予備自衛官の招集・派遣</p>

【総括】 自衛隊の各種能力を地域・災害の特性に合わせつつ最大限発揮

目次

I 第6師団の概要

II 第6師団の活動

能登半島地震における活動

南陽市林野火災における活動

山形県南陽市林野火災における災害派遣活動

概要

- 6月4日1440頃、山形県南陽市宮内において山林火災が発生、地北消防等による消火活動を実施するも鎮火に至らないことから、同日1706、山形県知事から第6師団長に対し、災害派遣を要請、同時刻受理
- 5自衛隊は、UH×4（第6飛行隊、東北方面航空隊）及びCH×3（第1ヘリ団）により、消火活動を実施
- 7日1745、山形県知事から第6師団長に対し、警戒要請、同時刻受理

活動実績

- UH×2（第6飛行隊）：空域統制
- CH×3（第1ヘリ団）：延べ133回、約665t
- UH×2（東北方面航空隊）：延べ62回、約31t

位置関係図

編成

```

graph TD
    A[6師団] --> B[20連隊]
    A --> C[6飛行隊]
    B --> D[地上支援等]
    C --> E[一部UH×2(機動)]
    C --> F[一部UH×2(捜索)]
    C --> G[一部UH×2(水汲)]
  
```

教訓事項

- 【自治体との連携】
 - 災害対策本部における意思決定に寄与するための、自治体と自衛隊の密接な連携（災害対策本部長と災害地域担任副隊長が定申請書により被害状況を認識共有）
 - 災害情報連絡委員会（自治体の防災担当者等）において災害派遣に関する認識を共有（災害派遣3要件、要請・徴収に係る要件、情報共有要件等）

第6師団の活動状況（現地調整・空中消火）

地味上がる秋葉山

空中消火のための取水

現場指揮所

秋葉山山頂付近

活動に対するメッセージ

活動に対する感謝のメッセージが寄せられています。

自衛隊の機動力に感服です。いつもながらの早い対応でした。

関係者、隊員さんの活動に強がります。お身体お大事に。

私達がゆっくり眠れているのは自衛隊の方々の判断と実施してとても感謝しています。自衛隊の活動を目の当たりにして子供たちは「あんな風にカッコよく人のために働きたい」と感動していました。国民、地味のためどうか体に気を付けてください。

第6師団第6飛行隊の皆様、山林火災の消火活動ありがとうございました。m.l.j.m 皆様のご機嫌で任務遂行されますよう祈っております。

活動・感謝のコメント 合計100件

第6師団の概要とその役割

自衛隊の機動力と役割を説明するプレゼンテーションの様子。